

## 「夏休みの子どもたちが危ない②」 自衛艦の一般公開・体験航海などはやめよ 日本共産党市議団が申し入れ（7月27日）

### 3か月連続で自衛艦の入港

海上自衛隊は8月3日から6日まで練習艦「しらゆき」を名古屋港に入港させ、4日に一般公募の体験航海、5日に一般公開を行うと発表しました。これらは自衛隊の広報活動であり、港湾施設は乗組員の休養・補給以外に利用すべきではありません。

今年5月には護衛艦「ゆうぎり」が、7月には護衛

#### 練習艦 T V-3517 「しらゆき」

長さ130m 幅13.6m 深さ8.5m 喫水4.1m  
基準排水量2,950トン。定員200名 馬力45,000PS 速力30ノット。  
1981年8月進水。2011年3月護衛艦隊から練習艦に転籍。定係港は呉。

兵装：62口径76ミリ速射砲×1。SSM  
装置一式。短SAM装置一式。アスロック  
装置一式。3連装短魚雷発射管×2。高性能  
20ミリ機関砲×2。  
ヘリコプター格納庫は講堂に改造。



艦「せんだい」が一般公開され、相次ぐ海上自衛艦の入港に、港湾管理者は緊張感をなくしています。

「しらゆき」は練習艦とはいえ機関砲、ミサイル、魚雷発射管などの装備を備え

ていて、子どもたちの夏休みに行われる体験航海を容認することはできません。

山口議員は「一般港に来たときは、一般港のルールを守ってもらう。商業港としての名古屋港を守らなければいけない」と抗議しました。



抗議の申し入れをするわしの議員（右）と山口議員（中央）

2012年7月27日

名古屋港管理組合 管理者 大村様

日本共産党名古屋市議員団  
団長 わしの恵子

### 海上自衛隊の護衛艦「しらゆき」の名古屋港入港に関する申し入れ

海上自衛隊は、8月3日から6日まで練習艦「しらゆき（2,950 t）」を名古屋港に入港させ、4日に一般公募者の体験航海、5日には一般公開を行うと発表しました。

「しらゆき」は練習艦とはいえ2011年2月までは護衛艦として任務についていた艦船であり、いまでも速射砲や機関砲、対艦対空のミサイル、アスロックや魚雷発射管などの装備を備えている。

今年5月には護衛艦「ゆうぎり」が、7月には護衛艦「せんだい」が名古屋港にあいつぎ入港し、ガーデンふ頭での一般公開も行なわれたばかりである。名古屋港へのたび重なる軍艦船の入港は、商業港である名古屋港をいつでも軍事目的に転用できる港へと慣らすためのものであり、容認することはできない。

自衛隊は、戦争放棄と戦力の不保持を定めた日本国憲法の下では、違憲の存在との指摘もある。子どもたちの夏休みに行われる体験航海や一般公開は、自衛隊

の広報活動そのものであり、市民に親しまれる港づくりとは似て非なるものである。

名古屋港が国際貿易港として大いに発展するためには、アジア諸国との平和友好・経済交流の維持・発展が不可欠である。軍事的緊張を高める動きは名古屋港の発展を阻害する。日本はいまこそ日米軍事同盟から抜け出し、この地域での軍縮をおおいに進めるべきである。

よって以下の点を申し入れる。

1. 自衛隊艦船の名古屋港入港を拒否すること。
2. ガーデンふ頭を軍艦の一般公開及び体験航海に利用させないこと。自衛隊への勧誘など乗組員の休養・補給以外に港湾施設を利用させないこと。
3. 港湾管理者として日本国憲法を厳守し、とりわけ憲法9条の不戦・平和の精神をあらゆる港湾行政に貫くこと。